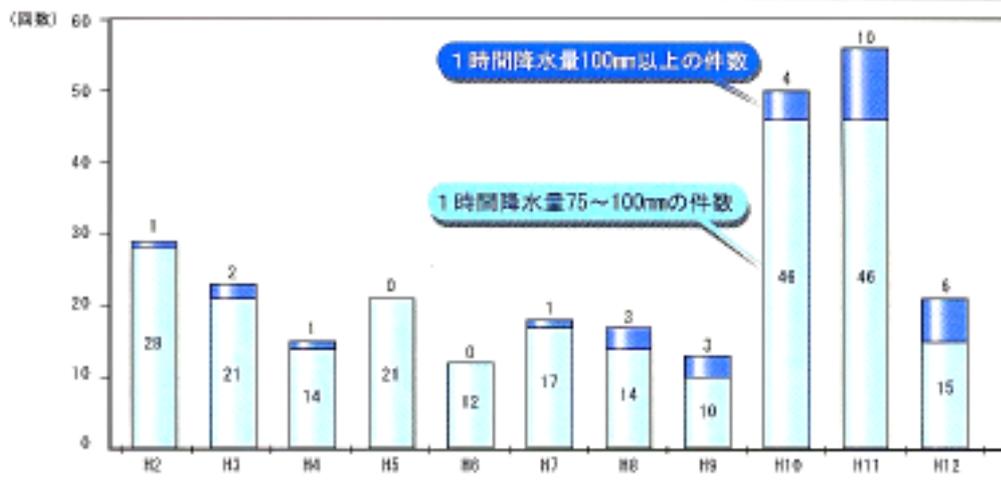


近年の水害状況

近年、局地的集中豪雨が頻発しています。

1時間降水量の年間延べ件数【全国のアメダス地点(1300箇所)より】



相対的に治水安全度が低い中小河川では破堤はん濫が減少していません。

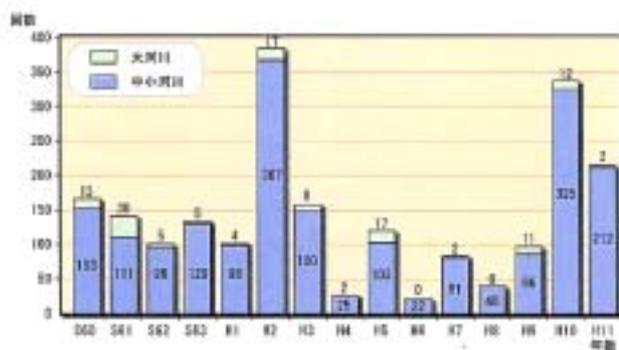


図- 破堤・有堤部溢水回数(S60～H11)

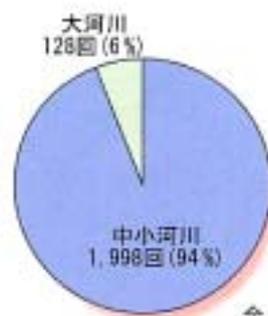
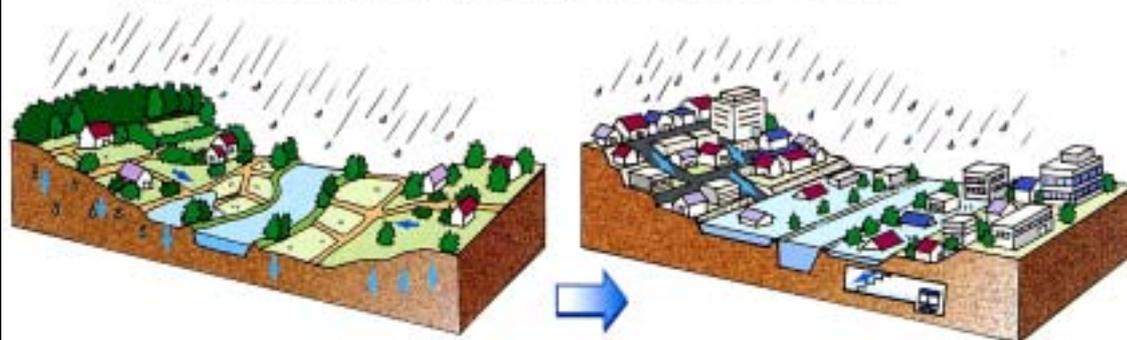


図- S60～H11の破堤等の回数

都市域では、土地利用の高度化により被害ポテンシャルが増加し、都市機能の麻痺や地下空間の浸水被害など、都市型水害としての課題が顕在化しています。



森林や畑などが失われ、地表がアスファルトなどで覆われると、下流への流出が増大します。さらに、各地域では住宅地の開発等により土地利用の高度化がなされ被害ポテンシャルが増大します。